

JAMCA

ジヤムカ
ニュース

The Japan Automobile Maintenance Colleges Association

No.37

2003年4月1日

発行
協会事務局
編集事務局

全国自動車整備専門学校協会
〒160-0015 東京都新宿区大京町31
ヴィップ新宿御苑 ☎ 03-3356-7066
〒125-0002 東京都葛飾区西亀有3-28-3
☎ 03-3601-2535 FAX 03-3601-2988
ホームページアドレス <http://www.jamca.jp/>



40周年記念式典を機に

群馬・東京自動車整備専門学校理事長
全国自動車整備専門学校協会理事・顧問

小倉 基義

40周年記念式典も壮麗に挙行されて協会は一つの節目を迎え、ますます社会に向かってアピールできる人材の育成が重要となってくるだろう。

前回のこの欄でも述べたように、わが国は資源が乏しいため人材の供給によって興国を図らなければならない。日進月歩の技術革新の世においては、そのなかでも特に技術者の育成は重要である。

現在の技術者は、昔のように一つのことを10年～20年かけて先輩を見ながらゆっくりと技術をマスターする余裕はなく、短期間にさまざまな分野の知識を広範に修得しなくてはならない。そのためには学校で系統立てて教育を実践する以外に方法がなく、ますます会員校の存在価値は増加するであろう。

文部科学省の報告にもあるように、現在の青少年が高等教育機関で勉強しようとする時の選択肢は二つである。一つは大学で学ぼうと考える者、あと一つは専門学校で学ぼうと考える者である。従来は、大学に行けないから専門学校にでも行こうかと考え、専門学校へ進学してきた者もいたが、現在は、小学生、中学生の早いうちから大学と専門学校の比較を始めているとのことである。

この現状を考えると、われわれ専門学校は彼らに情報の提供を積極的に行い、日本の車の優秀さや発展性を説明し、ひいては、自動車業界の素晴らしさを理解してもらい、この分野に青少年が夢と希望を抱いてくれるよう努力

しなくてはならない。

この点で今回、中川会長が小、中学校生向けの小冊子「クルマと人の夢と挑戦」をJAMCAより発刊したことは非常に正鵠を得たものであった。同時に、小、中学校生よりも更に自己啓発がなされ、自己具現化を考えている高校生には、従来の二級自動車整備士の内容だけでなく、より高度なファーストクラス・オートモービル・エンジニアの情報提供が必要となろう。

今回実施された第1回の一級自動車整備士の試験内容を見ると、問題としてはよく検討されたものであるが、目指すところは、あくまでも自動車ディーラー・ビジネスマンとしての資格であるようだ。

中川会長が提唱しているファーストクラス・オートモービル・エンジニアは、そこに止まらず自動車ディーラー・ビジネスマンに片足を置き、もう片方の足で更に高度で社会的意義が高く、誇りが持てる職業人を目指して跳躍出来る人材の育成を求めている。

会員校の一級課程で学ぶ若者の目標

設定の目線を確保させるために、協会独自のファーストクラス・オートモービル・エンジニア試験を実施し、日本だけでなく、世界に評価されるようなライセンスの発行を希望するものである。

さて、このような高いレベルの人材育成を会員校が目標に掲げる場合、各会員校が教育内容の更なるレベルアップを実現せねばならない。レベルアップの一方法として、現在、専門学校の努力目標とされる、自己評価、自己点検の充実があると考え。各校がこれを実施すると同時に、協会が委員会を設置し、会員校の評価、点検を援助するようなシステムをつくれば、会員校の能力のアベレージを上昇することが出来るのではないだろうか。

いずれにしろ、今、中川会長の斬新かつ若い感覚は、もろもろの有益な方策を打ち出し、一つ一つ実現の運びとなっている。何かと大変ではあるが、協会のため、会員校のため、ひいては次代を担う若者のためにますます活躍されることを望むものである。私も陰ながら微力を尽くしたいと考えている。

■ CONTENTS ■

2面	OPINION
3面	我が校自慢
4・5面	40周年記念式典
6面	一級国家試験実施報告
7面	活躍卒業生・地区通信
8面	私の教材活用・編集後記